

#### 5.4 レッドゾーン内での物品管理や環境消毒、手指消毒のポイント

- 具体的な事例
  - **【食器】** 洗浄前の食器と、洗浄・乾燥後の食器の保管場所を分ける。洗浄後の食器を扱う場合は、その前に手袋を消毒する。→「6.1.3 食事後の食器の洗浄・乾燥・収納（フロア全体をレッドゾーンにしたグループホームの例）（p.23）」の項を参照。
  - **【洗濯】** 洗濯前の衣服と、洗濯・乾燥後の衣服の保管場所を分ける。洗濯後の衣服を扱う場合は、その前に手袋を消毒する。→「6.7 洗濯（p.31）」の項を参照。
  - **【口腔ケア物品（入れ歯など）】** 洗浄前の口腔ケア物品と、洗浄後の口腔ケア物品の保管場所を分ける。入所者の口腔ケア物品は完全には消毒できないので、近接して接触することによる交差汚染を防ぐため、距離をあけて保管する。→「6.2 口腔ケア物品の管理（p.26）」の項を参照。
  - **【薬】** グリーンゾーンで薬を管理し、居室へは内服する分だけを持っていき、薬袋などがあれば、居室などで廃棄し、グリーンゾーンには持ち帰らない。
  - **【SpO<sub>2</sub> モニターや血糖測定器など】** SpO<sub>2</sub> モニターや血糖測定器を複数の患者に使用する時は、入所者ごとにアルコール綿などで消毒する。職員も入所者ごとに手袋を消毒する。
- 職員が肩掛け型のポシエットなどで手指消毒薬を携帯する場合、この**ポシエットは汚染しているのでグリーンゾーンに持って入らない**。个人防护具を脱ぐ場所の近くなど、入所者が触れない場所、あるいは職員の目の届くところに置いてグリーンゾーンに入る。
- PHS はレッドゾーンで使用する専用のもを決めると良い。ただしこの場合でも通話のために耳にあてるなど顔付近に持っていかず、部屋番号の確認のみに用いたり、スピーカー機能があればそれを用いて使用する。  
どうしてもグリーンゾーンに持ち帰る場合は全体を消毒して持ち帰るか、レッドゾーンではジップロックなどの袋に入れて使用し、袋から出してグリーンゾーンに戻す。この際も汚染した手袋で触れた場合は、触れた所は消毒する。

#### 【よくある質問】

- 物品や環境表面を消毒するか、あるいはそれに触れる手指（手袋）を消毒するか、どちらを優先したら良いのでしょうか？
  - 一般的に物品や環境表面を消毒の方が手間がかかります（消毒薬やペーパータオル、ゴミ箱を用意しなければならない）。従って、**こまめに物品や環境表面の消毒を行うよりは、汚染した物品や環境表面に「触れた後」に、手指（手袋）消毒を行う方が効率が良いことが多いです。**

## 【よくある質問】

- フロア全体をレッドゾーンにする場合、おむつカートはグリーンゾーンで管理するのですか、それともレッドゾーンで管理するのですか？
  - レッドゾーン内に持ち込んだものは基本的にはレッドゾーン内で管理するべきであり、もしグリーンゾーンに持ち込むのであればしっかりと消毒してから持ち込む必要があります。「6.3 おむつ交換（フロア全体をレッドゾーンにした特別養護老人ホームの例）(p.27)」の動画のようにフロア全体をレッドゾーンにした上で、おむつカートで巡回していく場合は、おむつカート全体を消毒することは困難であり、**基本的にはレッドゾーン内で管理**するべきです。

おむつカートをどうしてもグリーンゾーンで管理しなければならない場合は、カート自体はグリーンゾーン内に置いておき、必要な物品（おむつやおしぼり、ゴミ袋など）だけをその都度入所者のもとへ持参し、レッドゾーン内で廃棄してください。
  - 同様のことはガーゼや軟膏、薬などを載せた処置台（以下写真）にもいえます。処置台に積載する物品は多種多様であり、基本的には**処置台はグリーンゾーン内で管理し、必要な物だけをレッドゾーン内へ持ち込み、そのままレッドゾーン内で管理するか、しっかりと消毒してからグリーンゾーン内に戻し、処置台で管理する**ようにしましょう。
  - 社会福祉施設では**職員の作業効率を優先**し、様々な物品をまとめて管理することが多く、その場合「清潔（未使用）の物を置く場所」と「不潔（使用済み）の物を置く場所」という観点ではなく、**「物品の種類別」に管理**されることが多いです（経腸栄養物品、とか軟膏、テープ、文房具など）。またその場合に**「清潔（未使用）の物」と、「不潔（使用済み）の物」が混在**していることが多いです。これは**感染対策的には非常に危険**な状態です。
- **重要!** レッドゾーンを設定しないといけない状況では物品の種類別ではなく、**「清潔（未使用）」なのか、「汚染（使用済み）」なのか、「共用（文房具、テープ、石鹸、軟膏類など）による交差汚染はないか」という観点から物品や環境の整理・清掃・消毒を行う**ことが重要です。



使用前の物・使用後の物が混載した処置台の例